申請手数料一覧表

高知県火薬類取締法関係手数料徴収条例

令和3年2月18日 現在

	内		容	金額(円)
製造	法第3条	火薬類製造許可申記	青手数料	220,000
E ±	+ - - 2	火薬類販売営業	(1)競技用紙雷管のみ	25,000
販売	法第5条	許可申請手数料	(2) その他	1 1 0 , 0 0 0
	法第12条	火薬庫の設置又は	移転の許可申請手数料	73,000
火薬庫	第 1 項	火薬庫の構造又は	設備の変更許可申請手数料	8,300
火薬庫	法第15条	火 薬 庫 の	(1)設置又は移転	41,000
完 成 検 査	第1項又は第2項	完成検査手数料	(2)構造又は設備の変更	23,000
譲渡	法第17条第1項	火薬類の譲渡し	の許可申請手数料	1,200
		火薬類の	(1)火工品のみの場合	2,400
譲 受	法第17条第1項	譲一受けの	(2) 2 5 kg以下の場合	3,500
		許可申請手数料	(3) 2 5 kgを超える場合	6,900
煙火	法第25条第1項	火薬類消費許可申	申請手数料	7,900
保安	法第31条第3項	丙種製造又は甲· 交付申請手数料	乙種取扱保安責任者免状	2,400
責任者 免 状	法第31条第7項	丙種製造又は甲· 再交付申請手数*	2,400	
火薬庫 保 安 検 査	法第35条第1項	火薬庫の保安検査	 全手数料	41,000

参 考

運	搬	法第19条第一	1 項の運搬証明書の交付 (高知県警察手数料徴収条例)	2,400
証	明	工事証明	(高知県証明事務手数料徴収条例)	4 2 0

※ 手数料は、申請書の提出と同時に「高知県収入証紙」で納付してください。 <u>手数料額は、ほぼ3年ごとに見直しが行われますので、申請時には確認をお願いします。</u>

標準処理期間

(申請から許可までの期間)

許可	等 の 内 容	標準処理期間(日)
		2 5
製造施設、製造方法の変更の許可		1 5
製造施設の完成検査		1 5
危害予防規程の認可		1 5
ル変数の形字の計画	競技用紙雷管の場合	1 0
火薬類の販売の許可	上記以外の場合	3 0
火薬庫の設置、変更の許可	永久庫の場合	2 0
「父条庫の改画、変更の計り 	2級庫の場合	1 0
火薬庫の例外の許可		1 0
火薬庫の完成検査		1 5
譲受・譲渡許可	公安委員会の意見聴取の必要な場合	3 0
禄文·禄 <i>版</i> 计刊	その他の場合	1 0
譲受・譲渡許可証の書換		5
譲受・譲渡許可証の再交付		5
火薬類の輸入の許可		2 0
┃ ┃火薬類の消費の許可	公安委員会の意見聴取の必要な場合	3 0
入来類の用質の計画	その他の場合	1 0
火薬類の廃棄の許可		1 0
保安教育計画の認可		1 0
火薬類消費者の保安教育計画の認	可	1 0
保安責任者免状等の交付		1 5
保安責任者免状等の再交付、書換		1 0
火薬庫の保安検査		1 0

消費関係の申請・届出・報告書類の 様式等と記載上の注意

申請書添付書類等一覧表

(譲受・消費許可申請書) ── 産業用 ・・・土木・採石等において火薬類を譲受・消費する場合

No	書類	摘	様式
1	火薬類譲受消費許可申請書		1
2	火薬類消費計画書 その1		а
3	(従事者名簿) その2	従事者が多人数になる場合	b
4	(付近の見取図) その3	消費場所付近の見取図	С
5	(案内図) その4	付近の見取図だけでは現場が不明確な場合	
6	火薬類取扱保安責任者選任届	1ヶ月に火薬・爆薬25kg以上を消費する場合	d
7	火薬類取扱所設置仕様書	1日に火薬・爆薬25kg、電気雷管250個等を超えて消費	е
		する場合	
8	火工所設置仕様書		f
9	(消費地)承諾書	消費地(所有地・管理地)の承諾書	g
9	付近の民家及び施設の承諾書	消費地から概ね50m以内に保安物件がある場合の承諾書	
10	(火薬類)保管承諾書	販売業者の火薬庫に貯蔵を依頼する場合	h
11	工事証明書		i
12	消費地承諾及び工事証明書	工事発注者と消費地の所有者が同一の場合(9,11の合	j
		体)	
13	委任状	県外業者が、現場作業所長名等で申請する場合	
14	出向通知書(雇用証明書)	共同企業体として工事をする場合等	
15	海上保安部の許可の写し	指定海域で消費する場合	
16	JR等の承諾書	JR等の軌道から200m以内で消費する場合	
17	その他許可届出証の写し	他の法令により規制がある場合	

(譲受・消費許可申請書) コンクリート破砕器 ① 1日に150個以下を消費する場合 ② 1日に150個を超えて消費する場合

No	書類	コンクリー	ト破砕器	摘 要	+* -*
NO	音	1	; 2	加 女	様式
1	火薬類譲受・消費許可申請書	0	0		1
2	コンクリート破砕器の消費届	0	1 1		k
3	コンクリート破砕器消費計画書		0		m
4	(付近の見取図)		- 0	消費場所付近の見取図	С
5	火工所設置仕様書		0		f
6	(消費地)承諾書		1 0	消費地(所有地・管理地)の承諾書	g
7	工事証明書		0		i

(譲受・消費許可申請書) → 建設用鋲打銃用空包

─ ① 1日に200個以下を消費する場合

② 1日に200個を超えて消費する場合

ロープ発射用空包

── ※空包の原料をなす火薬又は爆薬が0.4g以下の場合は400個

No	書類	<u>鋲打銃</u>	用空包 : ②	ロープ発射用空 包	摘要	様式
1	火薬類譲受・消費許可申請書	Ö	0	0		1
2	建洲鋲打銃用空包消費計画書	0	0			n
3	ロープ発射用空包消費計画書		!	0		0
4	銃所持許可証の写し	0	. 0	0	1, 2, 3面のコピー	
5	付近の見取図		0	0	消費場所付近の見取図	С

【譲渡許可申請書】 ・・・・・ 工事が完了し、残火薬類がある場合

工事は終了していないが不要となった火薬類を販売業者に返納する場合

No	書類	摘 要	様式
1	火薬類譲渡許可申請書		2
2	火薬類譲受・消費許可証	(交付を受けていた譲受・消費許可証)	

【廃棄許可申請書】 ・・・・・ 火薬類を処分(爆発・焼却・溶解等)する場合

No	書	類	摘	要	様式
1	火薬類廃棄許可申請書				3

※ 建設業者は、火薬類販売業者に依頼すること。

(その他の申請・届出等)

No	書類	摘	要	様式
1	火薬類譲渡・譲受許可証書換 申請書	住所、貯	蔵場所等に変更があった場合	4
1	火薬類消費許可申請書 火薬類消費計画書	項変更届	消費の方法、従事者等に変更があった場合	р
1	火薬類譲渡・譲受許可証再交 付申請書	許可証喪	失等の場合	5
2	始末書			q
1	診断書(参考)※	取扱者の	制限の判定にかかる医師の診断書	r

- ※ 診断書については、この内容を満たしておれば他の様式でも構わない。
- ※1 申請書類は上表の番号順にとじること。
 - 2 申請書類は2部作成し、1部を提出(申請)、1部を控えとすること。

申請書等の記載についての共通事項

□ は、該当する箇所に ☑ とすること。 () は、具体的に数字等を記載すること。 様式第50 (第90条の2関係)

×整理番号			
×審査結果			
×受 理 日	年	月	日
×許可番号			

火薬類讓受·消費許可申請書

令和 年 月 日

高知県知事

様

代表者氏名

名	称					
事務所	所 在 地					
(₹)	(電話)	₸		T () –	-
職	業					
(代表者)(生 所 氏 名 (年齢)				(才)
		爆 薬	火 薬			電気雷管
	任虹刀似料目	kg	kg			個
火楽類の	種類及び数量	コンクリート破砕器	建設用鋲打銃用空包	ローフ。発射用空包		
		個	個	個		
目	的					
	期 間超えないこと)	令和 年	月	日から令和	年 月	日まで
貯蔵 又 (は保管場所	□ 2 級火薬』 □庫外貯蔵。		限: 年号:第		日) 号)
消費に	場所					
関する	日時 (期間)	令和 年	月 日	から令和	年 月	目まで
事 項	危 険 予 防の 方 法					
残 火	薬類	爆 薬	電気雷管	コンクリート破砕器	建設用鋲打銃用空包	ロープ発射用空包
月	日 現在	kg	個	個	個	個

備考

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 ×印の欄は、記載しないこと。 申請者が代理人の場合は、委任状を添付すること。 工事契約の元請業者が下請業者に工事を施工させる場合の申請者は、下請業者(現実 に火薬類を取り扱う者)とし、十分に火薬類の保安管理がいきとどき、かつ、責任をと れる業者に限ること。

a

				火		薬		類	消	<u> </u>	費	計	Ī	画	書			
作月	戈者	消	費に	三関す	トる	火薬	類取打	及保安	責任者	皆又は	取扱	者氏名	7					
				うと爆			種	類 	9°17	711	含爆	水 薬	硝多 剤熄 (アン					
	火	薬	•	漆	= =		薬径薬量											
消								気発	破「	〕瞬発	<u> </u>	□段	<u></u> 発 ()	段 ~ (()段	
		発	破	の	種	類												
	発							· · ·										
費	破の	発	破	0)	口	数	1回	の最大	、 発数			発	1 日	の最っ	大回数			口
	方	装		薬		量		最も	深い孔	4		最も	浅いる	FL	最も	近レ	・孔の間	間隔
	法	衣		采		基		n	$_{1}$ \times	g		m	×	g				m
の	الط ك	最	1 :大淮	. 日 <i>0</i> 肖費 見	り 見込	量) +	ログラ	· 4			
	時			\mathcal{O}		間				诗		分かり			诗		分まで	
	間	発	破 器	具 0)設	備	□ 発 i□ 運 i					□i さみ			サイレン 口締器	/	□赤	旗
方	危	警	戒	の	方	法		破警戒 旗表示	え標 ÷ () <i>5</i>	ァ所		□ 発破 □ 見張		表)	占配台	置	
		警	告	\mathcal{O}	方	法	口サ	イレン	/ [コその)他	()	に。	より発荷	皮をi	通知す	る。
法	害 予 防	防	護		出	置	発破1 □ブ □そ	の他	t - イン: (で覆		□』 散物の関		こ努め	る
	の	退	避	位	Ĺ.	置								こ安全	な場所	に退	避する	5 ,
	方	交	通	. 朱	il	限									一時通行			
	法	取		扱		所			:い(養書の。				量が 2	5 kgļ	以下に『	艮る)		
		火		工		所	別紙	仕様書	書のとこ	おり割	建置 🤊	ナる						
						火	薬 類	[を]	取り	扱う	必必	要の	ある	5 者				
E	E			名			保安	責任	者免状	文は	発破	技士免	許等		保知	安手	帳又は	
	(指打	軍者	に0	印)		種	類	į 2	交付官	公庁	名	番		号	従事	者手	-帳番-	号
- -				- -	-	- -	-			_ _		-	-		-			
識	別	J O.) 7	与	去	□勝	章	•	□保賃	安帽	•	口その	の他(()	

	火 薬	英類を取り	扱う必要の) ある者	
氏 名	保安責任	任者免状又は発破		保安手帳 又 は	/# *
(指揮者に〇印)	種 類	交付官公庁名	番号	従事者手帳番号	備考
識別の方法	□腕章	□保安帽	□その他()

消費場所付近の見取図

消費地点の外側600mの範囲内における平面図を書き、下の凡例により保安物件を明示 するとともに距離を記入すること。

ただし、消費地が市街地、交通頻繁な道路、人家の付近、公衆の集合する場所又はこれら の周辺の土地である場合は、別紙により消費場所の平面図及び断面図を書き、切取予定線を

····線で示し、切取順序をA, B, Cで表すとともに、防護施設及び警戒の位置を明示する こと。 Ν 凡 例

火薬類取扱保安責任者<mark>選任</mark>届 解任

令和 年 月 日

高知県知事様

代表者氏名

□ 火 薬 □ 消 す	庫の所在地 費 場 所						
	被選任者 被解任者	火薬	類取扱保安責任	任者免状	保安手帳		
選任角種区	解任の分及び	種類	交 付	交付年月日 及 び	番号	氏	名
別	年月日	1里 枳	都道府県名	番号	田 ク		
取扱							
保 安							
責 任 者							
上記の							
代理者							
取扱副							
保 安							
責任者							
解任	の理由						

注) 保安手帳を持参すること。選解任時には手帳への記入が必要です。

火薬類取扱所設置仕様書

代表者氏名

次のとおり火薬類取扱所を設置します。

設	置場	所		
取	扱所	\mathcal{O}	人の出入する建物から m 動力線から r	m
			火気を取扱う場所から m トンネル入口から r	m
位	置の状	況	火薬庫(庫外貯蔵所)から m 通路から r	m
	□ 見張人	を	・構造は □鉄筋コンクリート造り(厚さ10cm以上) □鉄板製(厚さ2mm以上) □コンクリートブロック造り(厚さ12cm以上) とする。	
構	配置し	な	・入口の扉は、厚さ2mm以上の鉄製防火戸とし、かつ鍵穴式錠(えび錠・	南
	い場	合	京錠を除く。)を使用する。	
			・屋根は □金属板 □スレート板 □その他()でふく。	0
造	□ 見張人	を	・構造は()とし、入口の扉は、()張りとする。	
	配置す	る	・火薬類を存置するときの見張人(氏名)を常時配置する	0
	場	合	・屋根は □金属板 □スレート板 □その他()でふく。	0
	境界	柵	周囲に有刺鉄線を使用した柵を設け、外部からの侵入を防ぐものとする。	
設	警戒	札	火薬類取扱所、責任者氏名、火気厳禁、立入禁止等と書いた警戒札を立てる。	0
臤	消火設	備	貯水槽及び防火用バケツを備える。	
備	内	部	板張りとし、床面には鉄類を表わさない。 木製の堅固な箱を備え、錠を施し、火薬又は爆薬と火工品とは別々の容器 に収納する。見やすい所に取扱いに必要な法規及び心得を掲示する。	뭄
	帳	簿	定められた様式による帳簿を備え、記載責任者は () し、不在の場合は () が、これに代わって記録する。	と

火薬類取扱所の写真貼付

[正面] ---- 正面から全景を写したもの

(境界柵、貯水槽、警戒札等が確認できるもの)

[内部] ---- 扉を開いて内部を写したもの

(施錠の状況、内部の板張り、収納容器、取扱心得が確認できるもの)

火工所設置仕様書

代表者氏名

次のとおり火工所を設置します。

設	置	場	所		
火位		所 D 状	の況	火気を取扱う場所から m 動力線から 火薬庫(庫外貯蔵所)から m トンネル入口から	m m m m
構	□建設	物け	をる	□木造とし、かつ外側をトタン張りとし、屋根はトタンでふき、入口にた 木造トタン張りの扉を備え施錠する。 内部は板張りとし床面は鉄類を表さず、安全に作業ができるようにする	
	場	V)	合合	□その他)
造	建設	物 け な	をい	□上部は() 張りとして、日光の直射及び雨露を防ぐようにし、その中に木製等の箱を備え、錠を施し、安全に作業できるようにする	
	場	1) 14	合	□火薬類保安協会推薦のテント式火工所を設置する。	
	さ		<	周囲を □有刺鉄線 □その他() で囲む。	
設	警	戒	札	火工所、責任者氏名、火気厳禁、立入禁止等と書いた警戒札を立てる。	
	内		部	整理整頓し、作業に必要な器具以外のものを置かない。 見やすい所に取扱いに必要な法規及び心得を掲示する。	
備	帳		簿	定められた様式による帳簿を備え、記載責任者は () と	<u></u>
	ツツ		仔	し、不在の場合は()が、これに代わって記録する。	
見	引	Ę	人	火工所に火薬類を存置する場合には、見張人を常時配置する。	

(消費地承諾書)

			拜	》	苦 書		(伯复 地承	而 音 <i>)</i>
()	申請者名)								
			村	<u></u>					
		(消費地))						
上	記の者に対	l							の
私の	所有地 管理地 付 近	で、令和	年	月	日まで	火薬類を消	費すること	とを承諾	します。
					地所有者) 住 所	令和	年	月	Ħ
				J	氏 名				
~~~~ h	~~~~~	~~~~~		~~~~~	~~~~~	~~~~~	 (火薬	~~~~~ 疼類保管方	·········· 承諾書)
			保	管	承 諾	書			
(申記	請者名)								
			様						
		(火薬庫の)	所在地)						
上記(	の者に対し							(こ	設置した
私の所え	有する一級	火薬庫に、令	7和 年	月	日まで	火薬類を貯	蔵すること	とを承諾	します。
						令和	年	月	日

(火薬類販売業者)

住 所 名 称 代表者氏名

## 工事証明願

				令和	年	月	日
(発注者)							
	;	<u>様</u>					
			(願出者)				

氏 名

住 所

本証明書は、火薬類譲受及び消費許可申請書の添付書類として提出しますので、下記の工事に ついて火薬類を消費する必要があることを証明願います。

工	事		名								
エ	事	期	間	年	<u>:</u>	月	日	~	年	月	Ħ
工	事	場	所								

令和 年 月 日

上記のとおり相違ないことを証明する。

〔証明者(発注者)〕

住 所

氏 名

j

## 消費地承諾及び工事証明願

令和 年 月 日

(発注者及び消費地所有者)

様

(願出者) 住 所

氏 名

本証明書は、火薬類譲受及び消費許可申請書の添付書類として提出しますので、下記の工事について火薬類を消費する必要があることを証明するとともに、消費場所の所有者として火薬類を消費することを承諾願います。

工 事 名							
工事期間		年	月	日 ~	年	月	日
(土地承諾期間)		年	月	日 ~	年	月	目)
工事場所							
(消費場所)	(						)

令和 年 月 日

上記のとおり相違ないことを証明するとともに、上記消費場所で火薬類を消費することを承諾 します。

[証明者(発注者·土地所有者)]

住 所

氏 名

## 委任状

令和 年 月 日

住 所名 称 〇〇建設株式会社 代表者氏名 代表取締役 □□ □□ @

私は、○○建設株式会社△△作業所長<u>(氏</u>名)をもって代理人と定め、下記の事項を委任します。

記

- 1 高知県○○郡△△町◇◇地先における火薬類の貯蔵、譲受、譲渡及び消費にかかる申請手続き並びにこれらの行為及び管理に関する一切の件
- 2 目的:県道××線開設工事のため
- 3 期間:作業所の所長として在職する間

······

#### 記載例

## 出 向 通 知 書

○○建設△△作業所 現場代理人 様

下記 2名に対して、令和 年 月 日から $\bigcirc\bigcirc$ 建設㈱ $\triangle\triangle$ 作業所に出向し、貴事業所の指揮監督のもと火薬類取扱作業に従事することを命じましたので、ご確認願います。

1氏名2氏名

令和 年 月 日

××土木㈱ 代表取締役 即

# 火薬類取扱作業従事者受入確認通知書

××土木㈱ 代表取締役 様

貴社から出向通知のあった下記 2 名を県道○○線工事の本工事事務所火薬類取扱従事者として 受け入れたことを確認します。

記

1氏名2氏名

令和 年 月 日

○○建設㈱△△作業所 現場代理人

## コンクリート破砕器の消費届

届出日 令和 年 月 日

高知県知事様

住 所

氏 名

(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 名称及び代表者氏名

1消費場所					
2消費目的					
3消費日時(期間)	令和 年	月 日 ~	令和 年	月	目
4消費数量		全期間を通じて 1日の最大消費見込む	<b></b>	個 個	
4 消 費 数 量 5 破砕時における			<b>a</b>		
			載		
5 破砕時における			号・令和		Ħ

#### 備考

- 1 この届は、譲受許可証の交付を受けた者又は譲受許可証の交付を受けようとする者に適用する。
- 2 この届は、無許可消費数量の範囲内で消費する場合に、消費する前日までに消費地を管轄する知事へ提出すること。
- 3 消費場所ごとに、この届を提出すること。
- 4 消費場所半径25m以内に人家等の保安物件がある場合は必ず個人から承諾書を取ること。 (添付の必要なし)

				コ	ン	クリ	<u> </u>	ト破る	<b></b>	消費	量計画	書			
作员	戈者	消	費に	関する	コン	クリー	一卜破石	<b></b>	責任者氏	氏名					
	2AK 1	典 1	12	; l, -}-	. 7	種	類			コ	ンクリー	卜破碎	2		
	作:			うとす		商品	商品名								
消	久	薬	•	爆	薬	薬 量	(g)								
们	<b>⊒</b> V.	使	用	筃	所	□無角	□無筋コンクリート □有筋コンクリート □転石 □岩盤 □その他 ( )								)
	発	込			物	□砂	□砂 □セメントモルタル □その他(								)
費	破方	破	砕	の回	数	1回0	の最大	発数		発	1日の聶	是大回	数		口
貝	法	装	,	薬	量		最も深	い孔		最も	浅い孔	;	最も	近い孔の	間隔
	云と	衣	ž	架	里		m	X	g	ľ	n×	g			m
6	時	最	1 大消	日の 費見込	量	コンク	カリー	ト破砕器	(		)	個			
の	間	破	砕	の時	間			時	/	分から	ò	時		分まで	
		破石	华器:	具の設	備	□発荷	皮器	□スケー	·ルロi	込棒	□サイ1	ンン	□赤	斥旗 □運排	般箱
		警	戒(	の方	法		卆警戒 デ を表示	標 ( )	ケ所		□破砕時 □見張人		)	名 邢 晋	
方	危	警	告(	の方	法				<u> </u>					日通知する 日通知する	5 ·
	害	I					要とし				,		•		- 0
	予	17- <b>1</b>	<i>=</i> #:	\ <del>     </del>	<b>₽</b>	破砕筒	適所に				グマット		防爆	<b>シ</b> ート、	
法	防	防	護	装	置			□畳	•		その他( で覆いチ	形散物	の関	り り止に努め	る
	0							□別	紙様式に	こより	防護柵				
	方	退	避	位	置	破砕筒	箇所か	ら (	)m離	れた	地形的に	安全	な場	所に退避す	する
	法	交	通	制	限	□制队	艮なし	□関	系機関と	打ち	合わせを	レード	诗通:	行止を行う	う。
	1,24	火		エ	所				設置する						
					火						あるす		-		
氏		<b></b>	- Or	名、	125		1				士免許等		-	安手帳 又	
	(指力	軍者に	<u> </u>	키 <i>)</i>	種	類	2	交付官公	一	1	<u> </u>	号	化	事者手帳者	番 方
識	別	の	方	法	□勝	市章		□保安帽		□その	の他(		1	)	

			<u></u>	<b>書</b> 意	20月	月鋲打銃用空包消	<b>貴計画書</b>
銃	所 持	許	可	番	号		
消	費	の	Ē	1	的		
消	費		場		所		
1	日の消	費	見返	₹数	量	建設用鋲打銃用空包	個
消弗	鉄筋二	ュン	ク!	J —	·	厚さ	c m
費すっ	コンク	リー	トブ	ロッ	<i>)</i> ク	厚さ	c m
る構造物	その	他	の	物	体		
従		事			者		
危	害 予	防	Ø	方	法		

 $[\]chi$ 1 危害予防に関しては、構造物及び周囲の状況を確認し、かつ、暴発その他による危害防止に万全を期すること。

² 譲受許可の有効期間が満了し残量があるときは、譲渡すること。

Ĭ	コープ発射用空包消費計画書
銃 所 持 許 可 番 号	
消費の目的	
消費場所	
1日の消費見込数量	ロープ発射用空包 個
従 事 者	
危害予防の方法	

- %1 危害予防に関しては、到達地点の状況を確認し、かつ、暴発その他による危害防止に万全を期すること。
  - 2 譲受許可の有効期間が満了し残量があるときは、譲渡すること。

様式第9 (第35条関係)

×整理番号			
×審査結果			
×受 理 日	年	月	日
×許可番号			

## 火薬類譲渡許可申請書

令和 年 月 日

高知県知事様

#### (代表者) 氏名

名	称					
事 務 所 所	在 地					
('	電話)	₸		<b>T</b> (	) –	
職	業					
(代表者)住 所 氏 名(	年齢)				(	才)
火薬類の種類及	び数量	爆薬	電気雷管			
		kg	個			
譲渡目	的	(消費場所 工 事 名	: :			
譲渡期(1年を超えないこ		令和 4	年 月	日 ~ 令和	年	月 日
譲渡火薬類の所	在場所					
譲渡の住	所					
相手方氏	名					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 ×印の欄は、記載しないこと。

様式第30 (第65条関係)

X	整理番号			
×	審査結果			
X	受 理 日	年	月	日
×	許可番号			

## 火薬類廃棄許可申請書

月	目
	月

高知県知事 様

(代表者) 氏名

名称							
事 務 所 所 在 地							
(電話)	₹			<b>T</b> (	)	_	
職業							
(代表者) 住 所 氏 名 (年齢)					(		才)
火薬類の種類および数量							
廃棄する理由							
方 法							
場							
日時	令和	年	月	日~令和	年	月	日
廃棄を指揮する者の氏名							
危険予防の方法							

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 ×印の欄は、記載しないこと。 備考

## その他の申請・届出等

(1) 火薬類譲渡・譲受許可証、火薬類消費許可申請書 (火薬類 消費計画書)の記載事項に変更が生じた場合の手続

許可を受けた後で次の事項が変更になった場合は、届出が必要です。 許可年月日・許可番号は、当該許可を受けている許可番号等を記載すること。

#### -- ア 「火薬類譲渡許可証」「火薬類譲受許可証」の記載事項に変更が生じた場合 -------

- ① 火薬類譲渡・譲受許可証書換申請書
- ② 許可証
- ③ 添付書類

		変更の内容		添付書類
住	所	個人	転居	
		法人	事務所の移転	法人登記簿の抄本(写)
氏名又	は名称	個人	改姓	
		法人	会社名の変更	法人登記簿の抄本(写)
職	業	業種の	変更	
貯蔵	場所	変更		(変更する火薬庫又は庫外貯蔵所が、許可 又は指示を受けていること)

#### -- イ 「火薬類消費許可申請書(火薬類消費計画書)」の記載事項に変更が生じた場合 ----

- ① 記載事項変更届
- ② 許可証
- ③ 添付書類

		変更の内容	添付書類
		代表者の変更	法人登記簿の抄本(写)
代	表 者	代表者の自宅転居	
		現場代理人の変更	委任状
保	安責任者	選任、解任	選(解)任届、保安手帳

	本事の中容	江
	変更の内容	添付書類
消費の方法等	(発破の方法と時間等) 火薬類の種類、発破の種類、発破の回数、装薬量、1日の最大消費見込量、発破の時間等 (危害予防の方法) 警戒の方法、警告の方法、防護装置、避難位置、交通制限	
取扱所	移転 構造変更 帳簿記載責任者等の変更	取扱所設置仕様書、見取図 取扱所設置仕様書
火工所	移転 構造変更 帳簿記載責任者等の変更	火工所設置仕様書、見取図 火工所設置仕様書
火薬類を取り 扱う必要のあ る者	(現場従事者の追加、転勤等に伴う削除) 消費場所で取扱従事者に変更が生じたと き	手帳 (追加従事者分)

様式第12 (第38条の2関係)

×整理番号			
×受 理 日	年	月	П

# 火薬類{譲渡}許可証書換申請書

令和 年 月 日

高知県知事

様

(代表者) 氏 名

許可	番				号	高知県指令		第	号	(整理番号	)
証	交	付	年	月	П		令和	年	月	日	
	区				分		旧			新	
変	住				所						
更	氏		7	(年	#7						
	IV.										
事	又	は		名	称						
西	職				業						
項	貯	蔵		場	所						
変	更	年		月	日		令和	年	月	Ħ	

注) 書換が必要となった場合は以下のものを添付すること。

住所変更…法人登記の抄本(法人の場合)

氏名又は名称の変更…法人登記の抄本(法人の場合)

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 ×印の欄は、記載しないこと。

高知県知事

様

住 所 氏 名

# 火薬類消費許可申請書 火薬類消費計画書

## 記載事項変更届

下記のとおり変更がありましたので届け出ます。

許可年	下月 日 及	なび許可	番号	年	月	日	•	高知県指令	第	号
整	理	番	号							

変 更 事 項	変更前の事項	変更後の事項
代 表 者		
保 安 責 任 者		
消費の方法等		
取扱所		
火工所		
火薬類を取り扱う 必要のある者		

- 注) 火薬類消費許可申請書の記載事項に変更が生じた場合には、下のものを持参すること。
- 1.記載事項変更届
- 2. 許可証 (火薬類譲受・消費許可証)
- 3.添付書類(代表者変更…法人登記簿謄本の写、現場代理人の変更…委任状) (保安責任者の選任・解任…選(解)任届、保安手帳))

様式第13 (第39条関係)

×整理番号			
×受 理 日	年	月	日

# 火薬類{譲渡}許可証再交付申請書

令和 年 月 日

高知県知事

様

#### (代表者) 氏 名

名					称					
事	務	所	所 (	在電影	地(話)	Ŧ	電話(	)	_	
職					業					
(1	代表者	)住	Ē.	所 名 (年	齢)				(	才)
許	種				別		譲渡許可証 ・	譲受許	可証	
可	番				号	高知県指令	第	号	(整理番号	)
証	交	付	年	月	日		年	月	日	
申	請		の	理	由					

別紙添付書類 申請の理由が譲渡許可証又は譲受許可証の汚損であるときは、汚損した当該許可証

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 ×印の欄は、記載しないこと。

# 始末書

この	たび私の不	5始末により、	さきに交付	寸を受けました	.火薬類譲受 <b>・</b> 譲	<b>養渡許可証</b>	(	年
	月	日付け、高知	口県指令	第	号) を	ました	<u>:</u> ので再	交付を
お願い	します。							
なお	、旧許可証	Eを発見したと	さきには速や	やかに返納する	こととし、又名	後許可証の	保管に	は、万
全を期	すことを使	弁せて誓約いた	こします。					
				記				
1 事	故発生の日	日時及び場所						
(1)	日時							
(2)	場所							
2 事	故の理由							
3 届	出警察署名	る及び届出年月	目					
(1)	警察署名	,						
(2)	届出年月	I 🗏						
					令和	年	月	目
高知	県知事		様					
				住 所				

氏 名

(参考)

# 診 断 書

		任所:					_
		氏名:					_
					年	月	日生
1	精神の	機能の『	章害がな	あるか。			
					ある	・ない	
	精神の機能	ミの障害:#	青神分裂病	、精神作用物質による急性中毒又は依存症、知	的障害、精	青神病質その	)他の精神疾患
2	火薬類	の取扱い	ハに伴う	う、危害を予防するための措置。			
					できる	る・でき	ない
				若しくは火気を取り扱うこと又は火薬類による いて理解し遵守することができるか。	爆発その他	也災害が発生	とした場合にそ
	上記の	とおり言	診断しる	ます。			
	<b>Л</b> Ты	<i>-</i>	П	П			
	令和	年	月	日			
				所 在 地			
				病院又は診療所の名称			
				電 話 番 号			
				医師の氏名			